

東京大学 国際シンポジウム 2026
プラネタリーヘルスと生命の循環

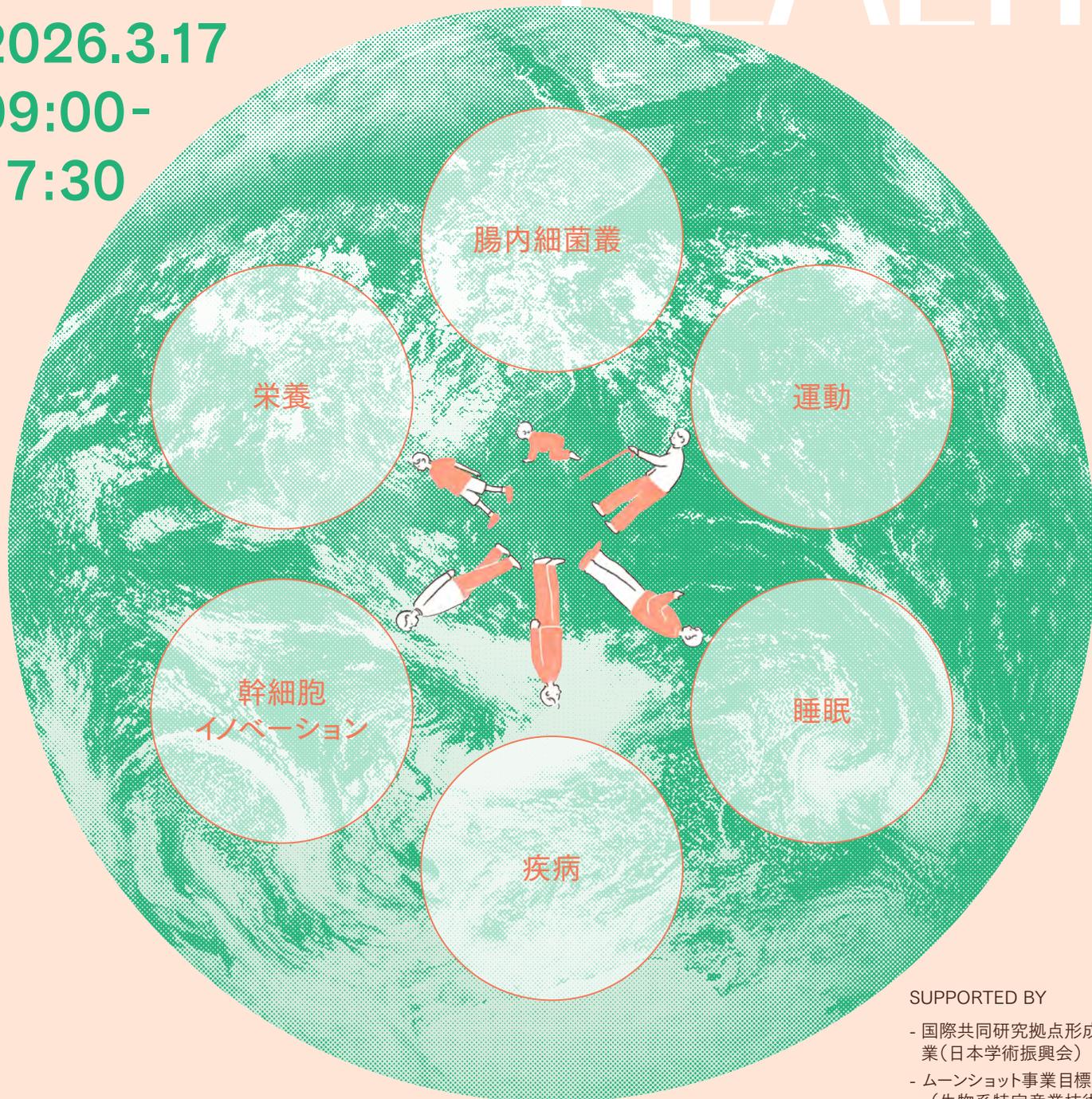
基礎研究から未来の
社会実装とイノベーションへ

PLANETARY HEALTH

2026.3.17

09:00-

17:30



SUPPORTED BY

- 国際共同研究拠点形成事業(日本学術振興会)
- ムーンショット事業目標5 (生物系特定産業技術研究支援センター)
- 日本パスツール研究所
- 在日フランス大使館
- 東京大学大学院農学生命科学研究科・プラネタリーヘルス研究機構

TAKANAWA GATEWAY CONVENTION
CENTER, CONFERENCE HALL A

東京都港区高輪2-21-2
THE LINKPILLAR 1SOUTH 6F
<https://www.takanawagateway-cc.com/en/>

CONTACT

高橋伸一郎
東京大学プラネタリーヘルス研究機構・特任教授
atkshin@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

CYCLES OF LIFE

世界の最先端研究者の話を聞いてみませんか？
そして直接交流してみませんか？

英語で難しい研究の話聞いても分からないかも・・・
同時通訳ありです！！

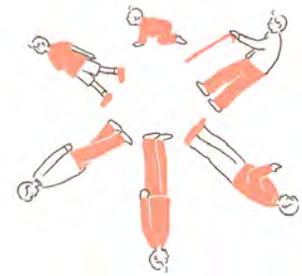
東京大学 国際シンポジウム 2026 プラネタリーヘルスと生命の循環 — 基礎研究から未来の社会実装とイノベーションへ —

地球への負荷を減らしていくためには、人類はどう生きていけば良いのでしょうか？

本シンポジウムでは、「健康寿命・就労寿命の延伸を、地球への負荷を減らすための手段として使えないか」という問いを議論したいと考えています。研究者だけでなく、企業、行政、そして社会に関わるさまざまな立場の人が集い、「人が長く健康に生きることが、地球にもやさしい社会とはどのようなものか」を一緒に考える場にできればと考えています。健康寿命・就労寿命の延伸を、個人のためだけでなく、地球と次の世代のための選択として捉え直すこと、それが、本シンポジウムの目的です。

地球への負荷を減らしながら健康寿命・就労寿命を延ばすための具体的な方法として、次のようなテーマを選びました。

- 食：体にやさしく、地球にもやさしい食事のあり方
- 運動：日常的な身体活動による健康維持と病気予防
- 睡眠：睡眠の質を高めることによる心身の安定
- 病気の予防：病気になってから治すのではなく、ならない工夫
- 腸内細菌：体中の微生物と共に健康を保つ考え方
- 幹細胞生物学：無理な延命ではなく、体の機能を保つ科学



これらはすべて、個人の健康だけでなく、医療や介護にかかる負担を減らし、結果として地球環境への負荷を小さくする可能性を有しているのです。



参加申し込み：<https://riph2026symposium01.peatix.com>

シンポジウム 参加費無料（200名まで）

情報交換会 参加費 2,000円（150名まで）



プログラム（予定）

同時通訳あり

- | | |
|------------------|---|
| 1. はじめに | 高橋伸一郎 東京大学 |
| 2. プラネタリーヘルス | 國井 修 グローバルヘルス技術振興基金 |
| 3. 運動 | 宮地元彦 早稲田大学 |
| 4. 睡眠 | 岸 哲史 東京大学 |
| 5. 食事 | 黒尾 誠 自治医科大学 |
| 6. インスリン様シグナルと疾病 | Dr. Briony Forbes Flinders University (Australia) |
| --- 昼休み --- | --- 昼休み --- |
| 7. 胎児成長異常 | Dr. Victor Han Western University (Canada) |
| 8. 動脈硬化 | Dr. Yusuke Higashi Tulane University (USA) |
| 9. 骨粗鬆症 | Dr. Shoshana Yakar New York University (USA) |
| 10. がん | Dr. Rosemary O'Connor University College Cork (Ireland) |
| --- 休憩 --- | --- 休憩 --- |
| 11. 腸内細菌叢 | 國澤 純 医薬基盤・健康・栄養研究所 |
| 12. 非侵襲的解析 | 若本祐一 東京大学 |
| 13. 老化 | Dr. Miria Ricchetti Pasteur Institute (France) |
| 14. 幹細胞イノベーション | Dr. Shahragim Tajbakhsh Pasteur Institute (France) |
| 15. おわりに | Dr. Anavaj Sakuntabhai Institut Pasteur du Japon |

シンポジウム終了後、情報交換会を行います。そちらにもぜひご参加ください。